



目 次

令和 5 年度第 3 回理事会開催 3

第 11 回通常総会のご案内 4

税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業

 新設法人説明会・小学生の税に関する作文コンクール 他 5

地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業

 新春講演会・餅つき体験 8

 学校へ書籍の寄贈 9

女性部会だより

 租税教室 10

 税に関する絵はがきコンクール入賞作品 14

青年部会だより 16

熊本西税務署長の横顔 17

税務署だより 18

熊本県県央広域本部・熊本市だより 21

支部だより 23

特集

 若い社員を育てる～上司・先輩に期待する 3 つのこと～ 24

事務局だより 26

絵はがきコンクール最優秀作品 28



● 表紙の作者紹介 ●

平 田 優 華

熊本デザイン専門学校
グラフィックデザイン科

〔コンセプト〕

季節は『春』です。春といったら桜なので桜をいれました。また、私は、猫の遊んでいる姿が好きなので猫が桜を頑張って捕まえているところにして、春らしい涼しげな感じにしました。

発行所

〒860-0802 熊本市中央区中央街3番8号
熊本大同生命ビル 2 階
公益社団法人 熊本法人会
会 長 竹下 英
広報委員長 安武 洋一郎
T E L (096) 353-2555
F A X (096) 353-2556



ホームページアドレス
<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/kumamoto/>

令和5年度 第3回理事会開催

開催日：令和6年3月15日(金) 時間：10時00分～11時40分
場所：ホテル熊本テルサ「たい樹」

公益社団法人熊本法人会の第3回理事会を、3月15日(金)にホテル熊本テルサで開催しました。税務当局の来賓及び会員企業から46名の役員の出席がありました。

竹下会長は、理事会の冒頭で以下の挨拶をされました。

能登半島地震から2か月余りが経ちましたが、厳しい寒さも重なり、復旧・復興活動は依然として厳しい状況が続いているようです。「能登半島地震に係る義援金」につきましては、県連と各単位会から合わせて160万円、その内、熊本法人会からは44万円を義援金として拠出しましたので、改めてご報告させていただきます。

ここで、もう一つ皆さんにご報告したいニュースがあります。熊本法人会の青年部会が、今年の11月に行われる「全国青年の集い」福井大会に南九連の代表として出場することになりました。これは、熊本法人会発足以来、初めてとなる快挙です。青年部会の藏本部長、榎木税制委員長をはじめ、青年部会の皆様には心から敬意を表し、全国大会でのご活躍をお祈りいたします。

ところで、令和5年度の熊本法人会の活動状況については、事業計画に沿って、様々な活動を行って参りました。「税制改正の提言活動」をはじめ、会員の垣根を越えた「木曜教室」、児童・生徒の皆さんには、「租税教室」、「小学生の税に関する作文コンクール」、「絵はがきコンクール」などの税の啓発活動、そして、地域社会に対しては「県庁銀杏並木ライトアップ」、「講演会」、「福祉施設への花かご寄贈」などの社会貢献活動、このような様々な事業を実施することができました。

この中で、「税制改正の提言活動」については、税制委員会を中心に粘り強く要望してきた「雑損控除の繰越期間の延長」について、ようやく令和5年の税制改正で実現しました。この改正が、能登半島地震で被災された方々の負担軽減に少しでも繋がっていけばと願っているところです。今後とも、会員の皆様のご意見・ご要望を反映した税制改正の提言活動に努めて参ります。

ところで、デジタル化に関連した話になりますが、法人組織のキャッシュレス納付の割合が低調ということで、法人会としてはこの状況を何とか改善していく必要があると思っています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、熊本法人会は、「発展的合併」を掲げ10年の歴史を刻み、令和5年6月の「10周年記念式典」など様々な事業を展開することができました。この1年は熊本法人会にとって大きな節目となる1年だったと思います。熊本法人会が更に飛躍していくためには、会員相互の意思疎通を図りながら、会員が一体となり何よりも“楽しく”会の運営を行っていくことが重要と考えています。役員の皆様には、引き続き熊本法人会の活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回、議案の柱は令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認の件、通常総会等の日程承認の件ほか、計5議案が審議され、全ての議事が承認されました。

また、業務執行報告として、各専門委員会の委員長と青年部・女性部会長から、この1年に取り組んだ事業報告が行われました。



竹下会長



来賓挨拶



理事会の様子

第11回 通常総会のご案内

開催日：令和6年6月4日(火) 時間：14時00分～19時30分(予定)
場所：ホテル日航熊本 阿蘇

◆第11回通常総会スケジュール

- ・記念講演会 14時00分～15時00分
講師：西原口 香織氏
テーマ：未定
- ・通常総会 15時15分～17時15分
議題：令和5年度事業報告、令和5年度収支計算報告 ほか
- ・交流会 17時30分～19時30分

◆総会の決議に関するお願い

- ・ご案内状を**4月下旬**に発送しますので、ご出欠回答のご返送をお願いします。
- ・総会の議決は、会員の「2分の1」の出席が必要ですので、ご出席をお願いします。
- ・ご欠席の場合は、**委任状にご記入の上**、期日までにご返送下さい。

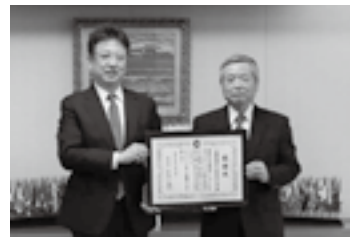
市電緑のじゅうたんサポーター制度感謝状贈呈

開催日：令和6年3月8日(金) 時間：11時00分
場所：熊本市役所 5階秘書課「庁議室」

地球温暖化は世界的な問題の1つになっています。熊本市は中心市街地に新たな緑を創出するために市電の軌道敷を緑化する「市電緑のじゅうたん事業」に取り組んでいます。九州新幹線の玄関口となる熊本駅から田崎電停までの区間のほか、辛島町から水道町電停にかけても徐々に進められています。本会は、社会貢献活動である環境保全活動の一環として「市電緑のじゅうたんサポーター制度」に協賛し、感謝状が贈呈されました。



感謝状贈呈式



大西市長と竹下会長

県下単位会事務局専務理事等会議の開催

開催日：令和5年12月22日(金) 時間：13時00分～17時00分
場所：熊本大同生命ビル 3階会議室

熊本県法人会連合会主催の県下単位会事務局専務理事等会議・研修会が、令和5年12月22日(金)に熊本大同生命ビル会議室において開催され、専務理事及び事務局職員が参加しました。

県連事務局の杉本専務理事から、全国県連専務理事等会議、会員増強と福利厚生制度の推進、財政健全化のための健康経営プロジェクトへの取組などについて、報告と説明がありました。また、会員増強に向けた効果的な取組について、各単位会から取組状況の発表、意見交換が行われました。

このほか、受託保険会社3社から、福利厚生制度の推進状況(令和5年度の途中経過)などについて説明がありました。

税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業

「新設法人説明会」の開催

事業名：新設法人説明会
開催日：令和 5 年 12 月 20 日 (水)
場 所：くまもと県民交流館パレア
参加者：59 社 76 名



木下組織委員長のあいさつ



新設法人説明会の様子

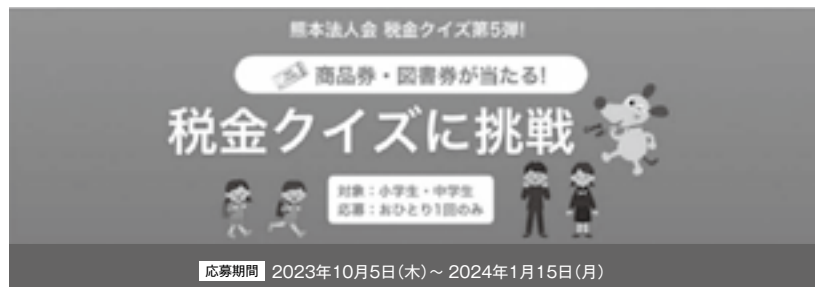
熊本西及び熊本東税務署管内において、令和 4 年 8 月～令和 5 年 7 月までに設立された法人 880 社に参加を促し、法人として事業活動を行うに当たり、会計帳簿の作成や帳簿書類の保存、税務上の申告や納税等基本的事項に関する説明会を開催しました。税務当局との共催事業で、7 回目となる本年度は、受付時では 87 社 118 名の申込みがありました。

全法連監修の DVD「経営に差がつく、知って得する税のお話」の上映のほか、熊本西税務署の兵動審理専門官を講師に迎え「会社の税金ガイドブック」をテキストに、説明会が進められました。また、木下組織委員長から法人会入会メリットなどの説明がありました。

小・中学生を対象にネットによる「税金クイズに挑戦」を実施

事業名：税金クイズに挑戦
問題数：15 問（税に関する簡単なコメント欄を別に設定）
開催期間：令和 5 年 10 月 5 日 (木)～令和 6 年 1 月 15 日 (月)
場 所：当会のホームページ（QR コードも併設）

小・中学生を対象に、ネット環境さえあれば、24 時間アクセスできる「税金クイズに挑戦」を実施しました。税金クイズの問題 15 問は、税務当局の監修で作成し、問題のほかに税に対する感想を聞くためのコメント欄を設けました。回答については、問題回答・送信後に解説が画面に出るように工夫しました。また、問題に挑戦する方法は、当会のホームページのアイコン、地方紙やパンフレットに貼付した「QR コード」の読み取りからアクセスできるようにしました。177 件のアクセス数があり、全問正解者 59 名（正解率：33.3%）の中から抽選で 20 名に商品券・図書券を発送しました。また、参加者全員に「税に関する下敷き」を贈りました。



税金に関するクイズに答えて
商品券や図書カードをゲットしよう!

「第 3 回小学生の税に関する作文コンクール」を実施

事業名：第 3 回小学生の税に関する作文コンクール
募集期間：令和 5 年 7 月 20 日（木）～ 11 月 30 日（木）
対 象：県内小学 5 年～ 6 年生（4 年生以下も可）
要 項：400 字詰め作文用紙（原稿）に 2 枚以内

「税に関する作文コンクール」は、これまで中学生や高校生を対象に実施されていますが、全国的に見ても小学生を対象として実施している団体は少なく（徳島県下の単位会のみ実施）、本会が管内（熊本西・熊本東税務署）の小学校で租税教室や税金クイズ大会を実施し租税教育に力を入れていることもあって、熊本市教育委員会と上益城郡内 5 町の教育委員会の後援を経て、令和 3 年度から同事業に取り組んでいます。管内小学校に無料配布される「子ども新聞」やホームページに募集案内を掲載するとともに、夏休みに入る前に管内全ての小学校 115 校に募集パンフレットを郵送して働き掛けました。今回は 110 作品の応募がありました。応募された作品は、中学生と変わらない視線で感想が綴られており、税に対する関心の高さが窺えました。身近なところで税金が役立っていることに気づいたことや、納税の大切さを考えながら綴られた作品でした。応募された作品から、23 作品を入賞としました。また、応募者全員に「税に関する下敷き」を贈りました。

【熊本法人会会長賞】 「税金のご恩と奉公」

熊本市立飽田西小学校 6 年 岡村 悠汰

ぼくが税金の勉強をするまでは、税金は総理大臣の生活費や、国がただお金をあつめていると思っていて、なぜ、自分たちが納めなければいけないんだろうと思っていた。

税金がなかったら、たくさん好きなものが買えるから税金はなくなってほしいと考えていた。だけど、税金の勉強をしたら、税金は自分たちのためにも使われていることがわかった。

税金がなかったら学校の授業やゴミをすてることにお金がかかるし、火事が起きたときや事件があったとき、だれも対応してくれない。これらのことを考えると、やはり税金はあったほうがいいのかと考える。

あと、税金は将来日本を背負う人材を育てるためにも使われていることから、将来の日本のためにも税金はなくてはならないものだと思った。

最近、歴史の授業の鎌倉時代で、ご恩と奉公について学習して、それで思ったことがある。

それは、国民が納めた税金を使って教育などをうけることが「ご恩」、そして「奉公」は、税金を使って学習してきたことを生かして社会にこうけんすることなのではないだろうか。

このことを考えて思ったことは、これからは税金を納めてくれている人に感謝し、それをむだにしないために真剣に学習して、将来社会のために税金を納められる人になろうと思った。



熊本市立飽田西小学校にて

【金賞】 「税の大切さ」

熊本市立田迎南小学校 6年 愛甲 紗弓

税金はみんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくために使われている。私たちが受けている教育も医療も身のまわりのさまざまな公共サービスが、いろいろな種類の税金から成りたっていることを学校で学んだ。

もし、世の中に税金がなかったらごみの収集が出来ずに不衛生になってしまったり、薬や医療も高く受けられなくなったりする。そして、地震や火事などの災害の時、復旧するためにはばく大なお金が必要となる。くらしを守ってもらうのも国民が税金を払ってこそ成りたっているものである。

私は熊本地震を体験した。熊本の各地で、道路が寸断され、家が倒壊した時に、消防や自衛隊が復旧の為に活やくしていたことをテレビで見っていた、その方々は公務員であり、私達が納めた税によって専門性の高い仕事で私達の命を守ってくれていたのだと思うと、改めて税のしくみの大切さと、納める国民の協力が大切だと思った。

将来、自分で働いて税を払う立場になったとき、国民の未来を担う一人であることを自覚していきたいと思う。

そして、今私が出来ることとして健康管理や学校のしせつを大切にしていくことで少しでも税金の無駄を防ぐことが出来たらいいなと思う。



熊本市立田迎南小学校にて

【金賞】 「税金に助けられる私たち」

熊本市立富合小学校 6年 田中 咲愛

私は、税についてあまり知らない。でも、税金が大切だというのは分かる。なぜなら、租税教室という授業があったからだ。税金の使い道は色々ある。主に、健康や生活を守る社会保障費、身近なことだと教育や科学技術の研究の文教・科学振興に使われている。また、災害があった時にも税金は使われている。

七年前、熊本で起きた災害を覚えているだろうか。二十八時間の間に二度発生し、熊本に大きな被害をもたらした、熊本地震。通信などのライフラインの停止、建物の倒壊、公共機関の停止などさまざまな被害を受けた。熊本城の被害総額は約六百三十四億円にものぼった。復旧するためにも、税金が使われた。

税金とは何だろうか。もちろん私たちが健康で安全に暮らしていけるようにみんなで出し合って集めたお金だ。でも、熊本地震のように、元々の生活を取りもどすため、支援するため、いざという時に税金に助けられている。もし、納税者がいなくなり、税金なんかなくなればいいと考える人が増えていくと、いざという時に、支援してくれる人がいなくなり、自分の命が危険になる。税金とは、私たちの生活には、欠かせない、至る所で使われており、税金がないと学校で学ぶこともできない。

これから税金とは、納めないといけないものという考えではなく、ポジティブに考え、一人一人がきちんと納めることで、より良い生活を送ることができ、いざという時にも、きちんと集めた税金が私たちの命を守ってくれるものだと考えが変わった。



熊本市立富合小学校にて

地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業

新春講演会

開催日：令和6年1月23日（火）
場 所：熊本ホテルキャッスル
参加者：408名



稲葉事業研修委員長のあいさつ



講師：小泉 悠 氏

東京大学先端科学技術研究センター准教授の小泉悠（こいずみ ゆう）氏を講師に招聘し「ロシア・ウクライナ戦争と日本」というテーマで講演会を開催しました。

小泉悠氏は、以下のように説かれました。

これまでの戦争との大きな違いは、戦場でドローンが飛び的確な現場情報を映像で挿入していること。

2022年2月以降のロシア・ウクライナ戦争の死傷者は50万人に上ると推計され、ロシアの死傷者は30万人に近づいている。ただ、ロシアは戦死者や負傷者の数を過小評価し、ウクライナは公式な死傷者数を公表していない。両国の兵力は、2022年はウクライナが20万人、ロシアは60万人といわれている。ロシアの人口構成は高齢化で若年層が少なく、兵力を、高給料を呈示して一般市民から募っている。

プーチン大統領は容易に妥協しない。ウクライナの非ナチ化を目的としており、停戦するには、ウクライナの主権の制限ができる立場になるか、首都キーウ（旧名：キエフ）の国家主権を手に入れないと応じない構えだ。推測の域を出ないが、2025年以降でないと停戦は考えられない。

ソビエト連邦の崩壊によって、エストニア、ラトビア、リトアニア（バルト三国）、ウクライナなど15の共和国が独立した。これは「認められた独立」であったが、プーチン大統領は、そもそもウクライナをソビエト連邦に加えたのが間違いだったと論文で述べている。ロシア・ウクライナ戦争の背景の一つに、両国の「歴史」「文化」「民族の起源」「言葉」「宗教」の違いもある。

これまでウクライナに対し西側諸国が軍事支援をしてきたが、アメリカの今後の見通しが不透明になってきた。また、EU（欧州連合）の内、ハンガリーが難色を示し軍事支援合意には至っていない。西側諸国の支援が先細りになった場合、兵力のあるロシアが有利でウクライナは勝てない。しかし、一転してハンガリーが反対から譲歩する姿勢も示しており、戦争の長期化が予想され戦果の行方が分からなくなった。アメリカは万一にもロシアが苦戦した場合、ロシアは何をしでかすか分からないと考えている。参加された方は、中高年の方々が殆どでしたが、興味深い解説で小泉氏の講話に真剣に聞き入っていました。



講演会の様子

餅つき体験

開催日：令和5年12月24日（日）
時 間：午前の部：9時00分～12時00分
午後の部：13時00分～16時10分
開催場所：金峰森の駅 みちくさ館（西区河内町岳）
参加者：午前・午後の部 70名（子ども51名、大人19名）

自然を学ぶ体験（事業）として、令和5年10月30日（日）に、（西区花園）の田んぼにおいて、「稲（餅米）刈り体験」を実施しました。継続事業として、NPO法人コロボックル・プロジェクトと共催で、石臼に入れた餅米を杵でつく昔ながらの餅つき体験を実施しました。杵は、大人用～幼児用の4種類が用意され、「1、2、3、4」の掛け声に合わせて、振りかぶった杵が、石臼の中で、ぺったんぺったん…と心地よい音を立てていました。出来上がった熱い餅は、テーブル毎に分けられ、子どもも大人も一緒になって、「餅まるめ体験」に挑戦しました。みちくさ館は、山頂に近いので朝は冷え込みましたが、参加した皆さんは、心地よい汗を流し自然と食育を楽しみました。



大人の餅つき体験



子どもの餅つき体験



親子で餅つき体験

学校へ書籍の寄贈

目的：次代を担う児童・生徒に対して、健全育成の増進を図り、地域社会の健全な発展に資することを目的として、小学校・中学校の要望に応じて書籍等を寄贈する。

支部長の方々に支部内の小・中学校への書籍寄贈の要望についてアンケート調査を行った結果、23支部から寄贈の応募がありました。事業研修委員会による厳選な抽選の結果、小学校 8 校、中学校 2 校に寄贈しました。そのうち、小学校 6 校、中学校 1 校で贈呈式が開催されました。贈呈式は、校長室や全校生徒を集めて体育館で開催されたほか、図書委員が寄贈を受ける場面を ZOOM で全校児童に配信するなど、それぞれに工夫して行われました。

地区 / 年度	令和 5 年度決定校						
	学校名	支部名	支部長名(敬称略)	寄贈冊数	代金支払日	贈呈式	租税教室予定
中央区	藤園中学校	慶徳	西村 辰則	43	8月28日	—	—
北区	北部東小学校	北部	村上 孝行	16	9月25日	10月10日	
	武蔵小学校	青年部会	藏本 真史	36	9月19日	—	5月12日
西区	花園小学校	花園	吉村 浩之	27	8月28日	11月1日	
南区	日吉小学校	日吉西	小山 太郎	45	9月19日	—	
	力合小学校	飽田	園田 晃力	31	9月11日	9月22日	
	田迎南小学校	女性部会	坂井由美子	29	9月12日	10月12日	7月14日
	城南中学校	川尻	深水 進	26	9月11日	10月16日	
東区	秋津小学校	若葉・泉ヶ丘	島鈴 克也	21	8月28日	10月11日	
上益城郡	木倉小学校	御船町	丸山 稔	26	10月10日	10月19日	
計				300			



熊本市立北部東小学校



熊本市立秋津小学校



熊本市立力合小学校



熊本市立城南中学校



熊本市立田迎南小学校



御船町立木倉小学校



熊本市立花園小学校